

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和5年3月6日（月）

### 2 確認箇所

プロセス主建屋

### 3 確認項目

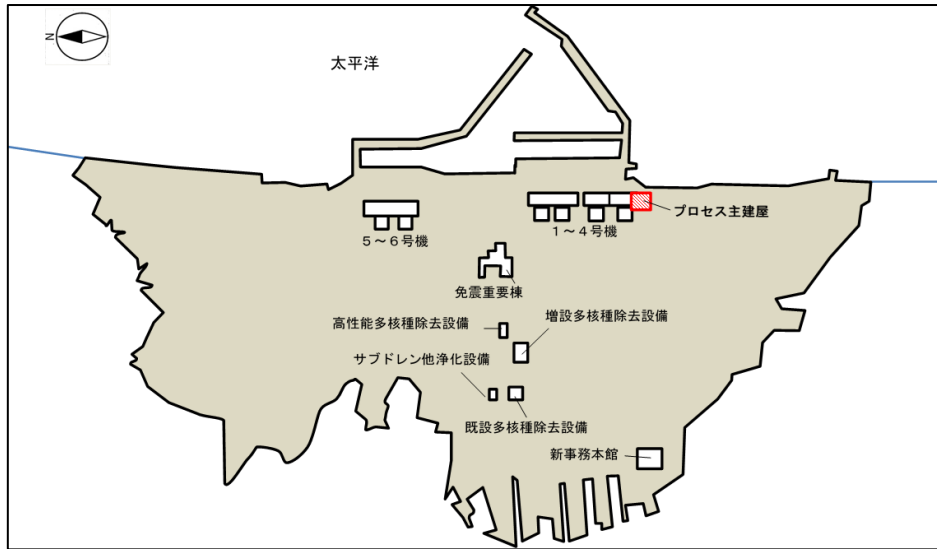
廃スラッジ抜き出しのためのプロセス主建屋搬入口設置工事の状況

### 4 確認結果の概要

プロセス主建屋（以下「PMB」という。）南側で進められている廃スラッジ<sup>※</sup>回収施設の設置に向けた準備工事は、仮設構台、クリーンハウス及び装備交換所の設置工事が完了し、干渉物撤去用の遠隔操作重機や廃スラッジ<sup>※</sup>回収施設の機器を建屋内に搬入するための搬入口設置工事のうち、壁面開口工事が10月18日から開始されていることから、状況を確認した。（図1）（前回確認：令和4年11月2日）

- ・前回、クリーンハウスを間仕切りシートで区画した開口作業エリア内で壁面のコア削孔（穴開け）作業を実施していたが、当該作業は完了し、該当部分には養生が施されていた。
- ・現地確認時には、作業員がPMB南側壁開口部の建屋外に設けられたクリーンハウス内で、建屋内に機器等を搬入するための架台の工事を実施していた。（写真1）
- ・ダストの飛散防止のため、局所排風機により空気をクリーンハウスに封入することによってPMB内に押し込む措置がとられていること及び予備の局所排風機が配備されていることを確認した。（写真2）
- ・クリーンハウスの開口作業エリア内及びクリーンハウスの外のダスト濃度を連続監視しており、測定結果に顕著な差異がなく、警報設定値を十分に下回っていることを確認した。（写真3）

※廃スラッジ：震災で発生した汚染水を除染装置（平成23年6月～平成23年9月運転）で処理した際に生じた高線量のスラッジであり、PMBの地下貯槽に約37 m<sup>3</sup>貯留されている。当該スラッジはPMBに津波が到来した場合に漏えいするリスクがあることから、回収して高台に移送することとしており、廃スラッジ回収施設の設置に向けた準備工事が進められている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
クリーンハウス内での作業状況



(写真2-1)  
PMB内に空気を押し込む局所排風機の設置状況



(写真2-2)  
予備の局所排風機の配備状況



(写真3)  
連続ダストモニタの稼働状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。